

# 専用スペーサーで風速5倍

エヌ・エス・ピー

## 今夏向け 新タイプ 空調服「Nクールウェア」

夏場の熱中症対策アイテムとして欠かせないのが空調服（電動ファン・EF・付きウェア）。市場は年々広がりを見せており、業界推計では2019年の市場規模は90～100億円（220～230万点）。今年は100億円超が確実視され、370～380万点の出荷が見込まれている。

そんな中、住宅用基礎器材メーカーのエヌ・エス・ピー（社長＝鈴木欣也氏、本社・岐阜県中津川市苗木9167）は、

今夏向け新商品として同社オリジナルのEFウェア「Nクールウェア」を発売した。同社がEFウェアの取り扱いを始めたのは2012年5月。その後、オリジナル製品の開発に取り組み、市場に投入して今年で9年目。現在では年間10万着以上の実績があるという。同社では新タイプの投入を機に一層の拡販に取り組み。

新タイプの「Nクールウェア」の特徴は服の内部に専用スペーサーを取り付けたこと。背中と肩に円筒形のスペーサーを

配置することでウェアと身体の間約2cmの空間を確保した。これにより背中から取り込んだ風が首元から勢いよく吹き抜け、従来比約5倍の風速を実現した。スペーサーの効果で、従来は風が流れにくかったかがんだ姿勢や刈り払い機（草刈り機）を装着したり、リュックを背負った状態でも背中に風の通り道となる風路が確保され、風が流れて涼しさを保つ仕組みだ。



新タイプのNクールウェア

また、建設現場での墜落・転落事故防止のため着用が義務付けられているフルハーネス型安全帯について、従来の同安全帯着用に対応した空調服は、ウェアの下に同安全帯を装着するため正

しい装着が出来ているかの目視確認や着脱がしにくい点に着目し、新タイプのウェアでは、服の上から同安全帯を装着でき、その状態でもウェアと身体のスペーサーを確保して風の流れを維持できるようにした。

新タイプのもう一つの特徴は、裏地にスーパータンコーティングを採用し、優れた遮熱性を確保したこと。従来のシリーズでは「チタンスパッタリング」という遮熱処理を施していたが、「スーパータンコーティング」を施すことで赤外線遮蔽率が従来の約92%から約99%に向上し、遮熱性能を未加工布と比べて約11度C、チタンスパッタリングより約4度C改善した。チタンスパッタリングは洗濯すると剥離しやすくなるという問題に対しても、スーパータンコーティングは、50回洗濯試験後、赤外線遮蔽率が従来比約20%改善との結果を確認している。

同社では「（新タイプの）Nクールウェアは、我々が目指している『炎天下のハードな作業をより快適にする』という目標にさらに一歩近づいた製品」と話している。